

往電第三五九号ノ記事ハ十日ノ「テレグラフ」ニモ掲載セラレ爲ニ一般ノ注意ヲ惹キタルモノト見エ各方面ヨリノ問合せモアリ之ニ対シ当方ニ於テハ何等承認セサル旨答へ居ルハ如キ報章ハ英國ヲシテ日仏接近ヲ焦慮シテ我方ニ誘ハントスル如キ結果ヲ生セス寧ろ反対ニ従来日本ヲ旧同盟國トシテ我方ニ概シテ好意ヲ表示居ル当中中流以上ノ方面ニモ不快ノ念ヲ与へ具ノ結果「リットン」報告審議問題等ニ関シテモ寧ろ當國一般ノ空気が悪化セシムル惧アリ就テハ至急本省ニ於テ適當ノ形ニテ右報道打消ノ措置ヲ講セラ

ルルコト必要ト思考ス右不取敢

7 昭和7年10月10日

内田外務大臣より
在ジュネーブ駐日連盟事務局長、在米國斎藤臨時代理大使宛第一九九〇号

滿州國承認祝賀大会の状況通報について

別電 同日内田外務大臣より在ジュネーブ駐日連盟事務局長、在米國斎藤臨時代理大使宛第一九九〇号

合第一九八九号

祝賀大会における滿州國承認希望方決議

十月八日新京、奉天、吉林、營口、哈爾濱、安東、錦州、

(別電)

合第一九九〇号

The safety and security of Manchoukuo have been guaranteed and our earnest hope fulfilled as a result of the de jure recognition granted us by the Empire of Japan on Sept. fifteenth. We are henceforth able to advance forward steadfastly through united efforts for the promotion of lasting peace in the Far East. Your sympathetic aid and support to our endeavours are sincerely sought for by the entire citizenry met at this gathering which is celebrating the recognition accorded by Japan.

8 昭和7年10月11日

在ジュネーブ駐日連盟事務局長より
内田外務大臣宛(電報)

リットン報告書に対する各国代表の意見に

こゝ

第六〇四号(極秘)

「リットン」報告ニ関シテハ未タ多数代表等ハ同報告ヲ精読シ居ラス從テ確定的ノ意見ヲ述フルモノ稀ニシテ当地

齊々哈爾ノ各地ニ於テ盛大ナル滿州國制ノ日本ノ同國承認ニ対スル祝賀大会催サレタルカ新京ニ於テハ新京特別市主催ノ下ニ雨天ニ拘ラス約一万ノ人員参加シ執政ノ教書國務總理ノ訓辭外交総長其他ノ祝辭アリタル後別電合第一九九〇号ノ如キ決議ヲナシ大会中央委員會長張燕卿(Chang Yeh-king)ノ名ヲ以テ連盟事務総長並ニ英、米、仏、独、伊、蘇連、波蘭等ノ外務大臣ニ通電シタル趣ナリ尚市長主催ノ祝賀宴會、演劇、講演、宣伝、「ラヂオ」放送等ニ依リ大々的祝賀「デモンストレーション」ヲ行ヘリ哈爾濱ニ於テハ張景惠名譽會長トシテ祝賀市民大会ヲ可シシ國際連盟外哈爾濱ニ領事名譽領事ヲ有スル日本以外ノ十五カ國ノ外務大臣ニ対シ承認希望ノ電報發出ヲ決議シタル後市中遊行ヲナシ張景惠、新任哈爾濱市長呂榮貴、東支督李紹唐以下ノ要人寒カリシニ拘ラス元氣ヨク先頭ニ立テ参加人員約二万人ニテ盛観裡ニ終了シ内外人ニ強キ印象ヲ与ヘタル由ナリ

壽府ヨリ別電ト共ニ在歐各大使ニ転電アリタシ

木ヨリ別電ト共ニ紐育、市俄古、桑港、加奈陀ニ転報アリタシ

ニ於ケル形勢ハ寧ろ通常總會後各代表部力真剣ニ同報告ヲ攻究シタル後定マルモノト思考セザラルルハ如キ懸念カ掃任ノ挨拶「ハニヤ」「ボリチス」「コナト」(仏國左派代議士、總代表代理)「ロジエ」(事務局日支事件主任官)、伊國代表部員、南米諸國代表等ト會談ノ際「ハ」等カ報告ニ付述(タル意見中参考ナル)ハキ点不取敢左ニ電報ス「リ」報告ニ対シ第一印象トシテハ同報告ハ日本ニ取リテ支那ニ取リテモ不滿ナルハキモ第三者ノ將來双方ノ主張ヨリモ本報告ヲ重スハキ事明カナリ「フネン」(「ロンドン」)又同報告ハ「ステータス、シャウ、アムンテ」回復ヲ不可トシ支那ノ内政ノ紊乱ヲ如実ニ記述シ居ラレハ以テ寧ろ日本ニ有利ナリト爲ス者多ク「コナト」「ロジエ」「ボリチス」等)又「ロジエ」ハ同報告ハ右ノ如ク日本ニ取リテモ有利ナルノミナラス結論ニ於テ滿州ニ支那ノ主權ヲ認ムト言フモノ右主權承認ハ外國人監督ノ下ニ置カラルル条件付ナルヲ以テ支那側ハ頗リニ同報告ニ對シ不平ヲ漏ラシ居リ唯目下ノ如日本ノ同報告ニ對スル態度カ強硬ナル爲右不平等公ニセサル次第ナルハシト語レリ

(二)「リットン」報告審査ノ理事会及總會ノ形勢ニ関シ「ハ

ネシユ」ハ欧州各国当事者ノ俱ルルハ滿州事件カ欧州ニ於テ先例トナルコトニシテ從テ「プリンシプル」ノ問題トシテ反対セサルヲ得サル次第ナリ殊ニ最近ノ独逸ノ態度ハ右懸念ヲ深カラシムルモノナリト語り其他ノ者モ皆「プリンシプル」ノ問題トシテ戦後樹立セル平和機關ヲ擁護セサルヲ得サル次第ヲ述ヘ居リ又「ベ」ハ來ルヘキ理事會總會ニ於テハ日本ハ所信ヲ述ヘ其政策ヲ明カニセラルルコトト思考スルル処本年初コリノ経験ニ依レハ何レノ國ノ代表者ト雖日本政府ヲ支持スル如キ発言ヲ為ス勇氣アルモノナル可キコトハ覚悟セサルヘカラスト述ヘ居レリ

(丙)日本トシテ來ルヘキ理事會總會ニ於テ如何ニ処置スルヲ得策トスルカノ点ニ関シ「ポリチス」、「コット」其他ハ日本政府ニ於テ「リ」報告ヲ全然排斥シ去ルコトハ連盟ト正面衝突ヲ來ス所以ナルヲ以テ之ヲ基礎トシテ討議シ自己ニ有利ナル部分ヲ強調シ以テ當分問題ノ解決ヲ延期シ時局ヲ推移ヲ見極ムルヲ得策トスル旨ヲ説ク者多ク又日本側ノ論議方法トシテ「ポリチス」ハ「日本カ既ニ滿州國ヲ承認シタル以上滿州國ノ事ヲ問題トヤスシテ単ニ

スヘシト説キ居リ又或ル向ニテハ連盟ハ「リ」委員會ニ感謝ノ意ヲ表シ該報告ヲ基礎ニ於テ關係國ノ談合ヲ開始スヘキ旨ヲ宣言シ充分ナル期間ヲ与ヘテ談合ヲ進ムルコトトセハ好都合ナラント主張シ居レリ然レ共之等ニ対シ果シテ幾何ノ支持者ヲ得ヘキヤ目下ノ処見込付カサル状態ナリ(南米諸國代表中ニモ日支事件ニ関シテハ連盟ノ立場ヲ傷クルコト無ク出來得レハ當事國間ノ直接交渉ニ依リ解決セシムトヲ希望スル意向ヲ洩ラス者アリタリ)土ヲ除ク在欧米各大使ニ電報セリ

9 昭和7年10月11日 内田外務大臣より 在ジュネーヴ沢田連盟事務局局長宛 (電報)

第二二八号(暗) 連盟總會代表に松岡洋右任命について

松岡洋右十一日付國際連盟總會臨時會議ニ於ケル帝國代表者被仰付但シ事務局ニ対スル帝國代表者氏名ノ通知ハ當方ヨリ何分ノ儀申進スル迄差控ヘ置カレ度

10 昭和7年10月(12)日 在ジュネーヴ沢田連盟事務局局長より 内田外務大臣宛(電報)

從來日本政府カ滿州ノ領土尊重、權益擁護、治安維持ニ関シ爲サレタル主張ヲ繰返シ之ヲ実現スル方法如何ト連盟ヲシテ(脱)セシムル如キ態度ニ出ラレ責任転嫁ヲ講セラルルト同時ニ議論ヲ永ク延ハスコトハ日本ニ有利ナラスヤト思考スル何レニスルモ日本トシテハ世界ヲ敵トスルカ如キ地位ニ自ラ置カルルコトナク連盟ト正面衝突ヲ欲スルモノニ非ス議論ノ余地アルコトヲ説キ各國輿論中日本ニ有利ナル部分ヲシテ無理セシメサルト同時ニ反対ノ部分ヲシテ半信半疑ノ地位ニ置キ表面ヨリ反対シ得サル如ク爲スコト必要ナルヘシト語レリ

尙壽府ニテ我方ノ好意ヲ有スル或ル向ハ一般ノ反対カ滿州國ニ在スルヲ以テ果シテ其反対理由アリヤ否ヤヲ知ル爲ニハ連盟トシテハ當分問題ノ解決ヲ延期シ時局ヲ推移ヲ監視シテハタリ

ジュネーヴにおける滿州國囑託ブロンソン・リーの活動について

第六〇八号(暗) 「ブロンソン・リー」五日当地着以來當方内密援助ノ下ニ各方面トノ個人的接觸ヲ計リ居リ來ル十四日ニハ同人主催ノ講演會開催ノ予定ニテ專ラ滿州國ノ宣伝ニ當リ居ル処貴電第二七〇号御申越ノ丁十源ハ何時頃御來着ノ予定ナルヘキヤ御返電ヲ請フ

11 昭和7年10月12日 内田外務大臣より 在ジュネーヴ沢田連盟事務局局長宛 (電報)

滿州國使節丁十源のジュネーヴ着日取について

第二二八三号(暗) 貴電第六〇八号ニ関シ「ハ十六日敦賀発浦潮、莫斯科、「ワルソ」、伯林經由貴地ニ赴ク予定ニ貴地着ハ大体十一月ノ第二週頃ナリトノコトナリ